

事業所名

こども発達支援センターippo

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

3月

31日

法人（事業所）理念	障がいがある「なし」に関わらず、ひとりひとりの個性を大切にしながら、将来、子どもたちが人として自分の価値を見出すことができる活動を展開し、多くの「成功体験」や「失敗体験」をすることで、子どもたちの「やる気」「自信」「自己肯定感」を強め、地域・社会の中で人とつながり自分らしく生きていくことができる力をつけていく。						
支援方針	踏み出した一歩（結果）も大切だが、その一歩を踏み出すまでの「過程」や踏み出そうとする「勇気」や「決意」を大切にしたい。支援者は子どもと一緒に「過程」を歩んでいく中で、「勇気」や「決意」を持つことができるように支援・サポートしていく。 ・日々の活動プログラムの中に「成功・失敗」といった体験ができる機会を意図的に作り出し、誉める機会を作る。 ・たとえ「失敗」しても結果の評価やプロセスの評価ではなく、次に向かう姿勢や気持ちにスポットを当ててほめる。 ※ほめるときは、お子様にわかるように具体的にほめる。						
営業時間	8時	30分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣が身につくようにお子様に応じて支援を工夫し、自分で取り組もうとする気持ちを育てます。</li> <li>・個々ができるところ、少し頑張ればできることを的確に把握し、スモールステップでできることを増やしていきます。</li> <li>・できたときには褒めて自信につなげ、身辺自立につなげます。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定活動や自由遊びの中で様々な姿勢や体の動きを経験できるようにします。</li> <li>・保育の中で運動遊びを取り入れ、ボディイメージや運動機能の発達を図ります。</li> <li>・友だちと一緒に体を動かすことを楽しむ機会を作ります。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様に合わせてわかる教具を工夫し、わかって取り組む経験を重ねます。</li> <li>・見通しを持って自主的に活動に参加できるように支援の工夫をします。</li> <li>・特性に合わせて教具を使用し、お子様の認知の発達を促します。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の特性に合わせて、要求が伝わる方法を考え、伝わった達成感を感じることで伝えようとする意欲を育みます。</li> <li>・日々の遊びや設定活動の中で周りの大人や友だちとやり取りをする機会を意図的に作ります。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな遊びを通して、保育者が適切に関わることで、大人や友だちと一緒に遊ぶことを楽しめるきっかけを作ります。</li> <li>・簡単なルールのある遊びを取り入れることで、ルールを守って遊ぶことの楽しさを体験する機会を作ります。</li> </ul>					
家族支援	療育参観日や親子イベントを実施し、お子様の新たな面に気付いてもらう。個別面談を通して家庭課題を把握し、具体的な支援内容を共有していく。			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹施設との定期的な交流の実施。</li> <li>・お子様の在籍園、進学先との連携。</li> </ul>	
地域支援・地域連携	地域の施設、地域の人と交流する機会を設ける。 2市1町（古賀市、福津市、新宮町）の連携会議の場に積極的に参加し、情報交換・共有を行うことで各施設や関係機関との連携強化を図っていく。 市主催の研修等にも積極的に参加し情報収集に務める。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、事業所ミーティングを実施。</li> <li>・オンラインでの研修がある際は、積極的に受講を進めていく。</li> </ul>	
主な行事等	親子遠足、クリスマス会、面談、豆まき、保護者学習会、療育参観、その他季節の行事や誕生会						